

10MHzをリファレンスとして 44.1kHz と176.4kHz の同時出力時の設定

WC 1,2 out から44.1kHz を出力し、WC 3,4 out から176.4kHz を同時に出力する設定をご説明します。

```
REF: WC1k 2      LOCKED      FQ A:  44100
      10MHz                FQ B: 176400
```

DCD-8 のリファレンスを10MHzとして、同一のリファレンスをドメインA とB にて使用し、2 種類のサンプリング周波数を作り出します。

MENU 01 にて、ドメイン A の周波数を設定します。

例では、44.1kHz です。

```
RATE A:  Set   44100      [44100]
```

MENU 02 にて、リファレンスを選択します。

例では、WC 2 IN に接続した 10MHz を選択しています。

```
002 REF A:  WC1k 2      [WC1k 2]
      rate:  Set   10MHz GPS  [10MHz]
```

これで、ドメイン A は、WC 2 IN をリファレンスとした 44.1kHz を作り出します。

次に、MENU 21 にて、ドメイン B の周波数を設定します。

例では、176.4kHz です。

```
021 RATE B:  Set  176400      [176400]
```

MENU 22 にて、ドメイン B でどのリファレンスを使用するか選択します。

例では、ドメイン A で選択したリファレンスを使用する設定にしています。

```
022 REF B:  Use REF A      [REF A]
```

最後に、どの出力からドメイン A,B で設定した周波数を出力させるか設定します。

MENU 04 で、その設定を行います。

例では、WC OUT 1,2 にてドメイン A (この場合 44.1kHz)、WC OUT 3,4 ではドメイン B を選択し 176.4kHz を出力させる設定にしています。



フロントパネルの LED 表示で、この設定の状態を確認出来ます。

